

一般質問通告書一覧表

令和8年第1回定例会

質問 順位	質問 方式	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	一問 一答	椎野 隆 野 員	1.介護保険 事業所への 支援につい て	①介護保険料は1人平均いくらか ②介護事業所の種類ごとの数 ③要支援要介護の人数 ④小規模事業所への支援を検討すべき	副市長 保健福祉部長
			2.原発と農 業は両立し ない。東海第 二原発再稼 働について	①福島原発事故の農業被害の実情 ②東海第二原発は、再稼働すべきではないと 思うが、市長の見解を伺う。	市長 地域振興部長
2	一問 一答	篠田 純 一 田 員	125号桜川 バイパスの 早期開通と まちづくり について	国道125号桜川バイパスの早期開通をなくして阿波・幸田地区における、まちづくりの進展は成し得ません。国道125号桜川バイパスの早期開通に向けて、より一層働きかけが急務であると考えますが、執行部の今後の進め方を伺います。	市長 副市長 地域振興部長 土木管理部長
3	一問 一答	高山 久 山 員	1.女性や若 者が住みや すく子育て しやすい「ま ちづくり」の 実現につい て	①本市の子育て支援、女性活躍政策の取組について ②子育て支援住宅整備計画について ③女性や若者が魅力あると思う拠点地区の形成について	市長 市長公室長 地域振興部長
			2.職員のモ チベーショ ン向上のため の取組につ いて	①職員が安心して勤務できる魅力ある環境整備について ②組織力向上に向けた今後の取組について	市長 副市長 総務部長
4	一問 一答	根本 光 治 本 員	1.災害協定 の見直しに ついて	これまでの災害協定を一步進ませるべきと考えます。様々な地元企業や団体の皆さんとの全方位的な協力体制が重要であり、横断的な連絡網による情報収集力や伝達力の向上を図ることで、稲敷市の安心安全の強化を進めるべきと考えますが、市の見解を伺います。	市長 市長公室長
			2.地元企業 育成条例の 制定につい て	地元企業は、昨今の価格競争や資材高騰、人手不足、後継者問題等により厳しい経営環境にあります。市の指針として「地元企業育成」を明確にし、企業誘致と同様に地元企業を優先的に活用し、「地域にある企業を育てる」という意識を強化する必要があると考えます。地元企業が元気になれば、地元の雇用が維持・拡大されます。「地元企業を育てる」という方針を、個別的な支援策ではなく、一つの包括的な政策・条例として取り組む気概はあるか、市の見解を伺います。	市長 総務部長

5	一問一答	染谷久仁桂 議員	市政の取り組み方と考え方について問う	<p>市民から届く声の中に、このまちの未来に対する不安の声が多くあります。稲敷市の停滞、衰退について多くの意見をいただいております。市民の不安や不満がなぜでてるのか、まちの考え方や体質を紐解けるように、いくつかの課題を通じて質問いたします。</p> <p>①江戸崎・新利根・龍ヶ崎のバス路線における利便性確保と、戦略的な地域交通再編に向けた行政の責務について</p> <p>②成田国際空港の機能強化に伴う対応とインフラ整備について</p> <p>③市の財政運営について</p> <p>④これからの市政について</p>	<p>市長 市長公室長 総務部長 地域振興部長</p>
6	一問一答	山本彰治 議員	1. 増え続けるイノシシの対策について	<p>ここ数年イノシシの被害が拡大し続けています。毎日のように、市内各地での目撃情報が発信されています。人的な被害は報告されていないものの、畑作などへの被害はあちらこちらから聞こえてきます。市では、プロジェクトチームをつくり、その対策にあたっていますが、その状況や今後の展望、および市民に対する救済策などについて伺います。</p>	<p>副市長 市民生活部長 地域振興部長</p>
			2. 市の第3次総合計画の前期計画における実績と今後の展望について	<p>第3次総合計画の前期計画は2年が経過し、まもなく次の中期計画の策定に入るところにきています。前期の折り返し、2年が経過する段階で、ここまでの実績をしっかりと検証し、今後の中期計画に活かしていただきたいと考えます。その上で、今後の展望について伺います。</p>	<p>市長 市長公室長</p>
7	一問一答	鈴木正志 議員	水道水等におけるPFAS調査の結果・対応・今後の方針について	<p>昨年3月、第1回定例会において本市の水道水等におけるPFAS（有機フッ素化合物）の対策について、一般質問を行いました。その後のPFAS調査の結果・対応、今後の方針について伺います。</p> <p>①令和7年4月以降の水道水のPFAS調査の結果について</p> <p>②PFAS調査結果の情報の共有及び提供について</p> <p>③個人所有の井戸水の調査について</p> <p>④水質基準を超過した場合の対応について</p> <p>⑤住民への情報提供と公表基準について</p> <p>⑥安全な水の確保に向けた今後の取組について</p>	<p>市長 市民生活部長 土木管理部長</p>
8	一問一答	浅野信行 議員	1. 居住サポート住宅について	<p>令和7年10月に施行された改正住宅セーフティネット法。今回の改正では「居住サポート住宅」が新たに制度化され、住宅政策と福祉政策を一体的に推進することが、自治体に求められることになりました。本市の取組を伺います。</p>	<p>市長 地域振興部長 保健福祉部長 土木管理部長</p>
			2. AI見守り電話について	<p>近年AIを活用した自動音声によって、定期的に電話を行い、安否確認や健康状態の把握を行う「AI見守り電話」の導入が全国の自治体で進み始めています。本市の取組を伺います。</p>	<p>市長 保健福祉部長</p>

9	一問一答	無藤智恵美員	1. 給食費無償化により生まれる財源の使い道について	①給食の質を守るための仕組みについて ②給食における地元農産物の使用割合と目標数値 ③生まれる財源を子どもの将来に直結する分野に再投資する考えはあるのか ④給食費無償化で生まれた財源をどのような価値観で活かしていくのか市長の見解	市長 総務部長 保健福祉部長 教育部長
			2. 国県主導の一括化の中で、自治体の権限をどう守るか	①各分野の一括化による自治体の権限へ影響の認識は ②システム共通化により本市が主体的に判断できる余地は ③システム障害の想定と具体的対策について ④共通化によるコストの増減について ⑤稲敷市の主体性と権限をどう守っていくつもりか市長の見解	市長公室長
10	一問一答	寺崎久美子員	1. 合併特例債と東地区施設について	合併特例債は、合併特例法に基づき、新しいまちづくり事業に使える特例的な地方債です。合併20年間で地域格差是正や行政サービスの均質を保つ事業が計画的に進められたか問題提起し、統合と各地区均衡配置、バランスの取れた地域振興、旧住民が納得できる公平な使途について伺います。 ①各地区の実績 ②東地区施設計画と地域の拠点 ③合併振興基金 ④「縮減も有意義である」発想と構想	市長 副市長 教育長 市長公室長 総務部長 教育部長
			2. ナガエツルノゲイトウの今後の対策について	茨城県知事・県民生活環境部長からは「駆除等の対策を進める」などの発言がありました。こうした県の対応に伴う、本市の加速した今後の対応策、市民理解が必要と考えます。そこで本市の今後の強化策について伺います。 ①国・県への要望内容について ②予算要望について ③市民への報告、啓発について	市長 市民生活部長
11	一問一答	中沢仁員	1. 稲敷市における市長選挙と議会議員選挙日程および投票率向上について	①過去の実施例 ②選挙費用について ③日程について ④投票所の開設時間について ⑤投票率向上について	選挙管理委員会書記長
			2. 稲敷市における地方創生伴走支援制度、その後の進捗状況と効果検証について	①伴走支援制度の進捗状況について ②効果検証についてどのようにしていくのか	市長 市長公室長